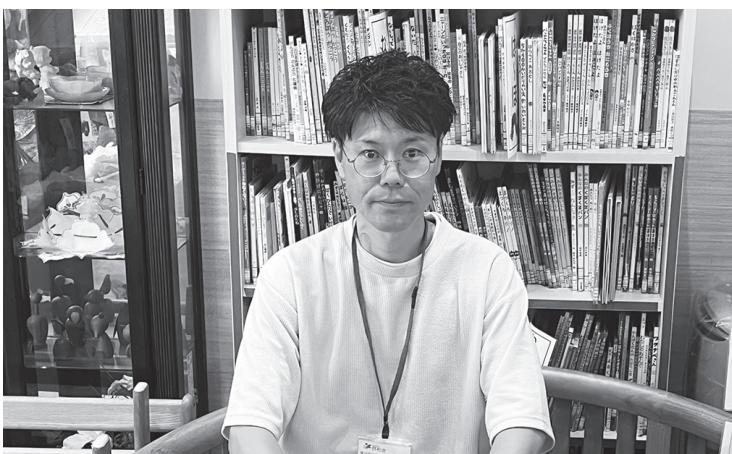


社会福祉法人 啓和会 塩川のびやか保育園

副主任保育士 渡部 宏昭さんに聞く

わたなべ
ひろあき

1981年生まれの喜多方市出身。妻と2人の子ども、母との5人暮らし。
塩川のびやか保育園唯一の男性保育士であり、女性の職業といふイメージの未だ残る保育の分野で、副主任保育士として子どもたちの保育などに携わる、その人物像に迫る。



▲塩川のびやか保育園
ホームページ

副主任保育士として、事務や後輩保育士の指導、児童組リーダーや主任の補佐、各クラスの保育にあたっています。
また、園外活動時のバスの運転や動画編集など資格や特技を活かした業務も担当しており、同法人の東町のびやか保育園には男性保育士が1名いますので、交流を大切にしています。

副主任保育士になり、5年以上が経過しましたが、様々な視点から子どもを見ることがいきつかります。このできる今の仕事にやりがいを感じています。

現在の仕事を始めたきっかけを教えてください

高校の文化祭で、小さな子どもたちの世話をする役になり、将来このような仕事に就くのもいいかもしれないと思いました。

また、母がボランティアで週1回、図書館で絵本の読み聞かせを行っていた姿を見育つたこともきっかけになりました。

お仕事について聞かせてください

男性保育士としての苦労などを教えてください

これから男女共同参画社会について

副主任保育士として、事務や後輩保育士の指導、児童組リーダーや主任の補佐、各クラスの保育にあたっています。
また、園外活動時のバスの運転や動画編集など資格や特技を活かした業務も担当しており、同法人の東町のびやか保育園には男性保育士が1名いますので、交流を大切にしています。

副主任保育士になり、5年以上が経過しましたが、様々な視点から子どもを見ることがいきつかります。このできる今の仕事にやりがいを感じています。

副主任保育士になり、5年以上が経過しましたが、様々な視点から子どもを見ることがいきつかります。このできる今の仕事にやりがいを感じています。

男女共同参画社会づくりに向けて取り組んでいることを教えてください

男女にこだわらず、保育に携わる全ての人と保育の楽しさを共有することで、それが、自分が周りや社会にとって大切な存在であると感じられるよう意識しています。

男性保育士だからといふことを理由に、保護者に心配されるようなことはありませんが、子どもの成長段階を考慮した対応など、女性保育士ができ、自分はそれができない、という場面では、男女の考え方、価値観の違いによる差を感じることがあります。その差を埋め、自分も同じようにできるようになるには苦労しました。

園長(上司)の小林さんから一言

保育の分野での男女共同参画や、より良い保育を実現していくためには、夫婦がともに子育てに協力していくことが重要であり、子どもの成長に携わっていることも大切だと考えています。

また、それと同様に保育の現場でも男女がともに子どもたちの成長に携わっています。また、それと同様に保育の現場でも男女がともに子どもたちの成長に携わっています。また、それと同様に保育の現場でも男女がともに子どもたちの成長に携わっています。

企画調整課 企画調整班

企画調整課 企画調整班